JSAP 活動報告書　　報告書作成日：　2018 年　7 月　　16 日	
イベント名称: 子供科学教室	
日時：　2018 年　7 月　16 日	場所: 箕面市立小野原多世代地域交流センター
目的・狙い：　本科学教室は、大学近隣に住む小学生に、学校の授業では習わない少し発展的かつ身近な内容の物理に触れさせることで、物理・科学の面白さを伝える事が狙いである。また、応用物理学学会学生チャプターとしてのアウトリーチ活動の一環でもあるため、地域周辺の人々に我々や応用物理学会の存在を認知させることもできる。	
イベント概要：　大阪大学吹田キャンパス周辺に住んでいる小学生低学年を対象とした科学教室を行った。参加者は子供 16 名大人 13 名スタッフ 6 名の合計 35 人であった。子供達に「紫外線と蛍光」について身の回りの例を挙げながら丁寧に授業を行った後、3 つの異なる実験を行った。1. 見えないペンでお絵かき　2. 身の回りの蛍光物質　3. 道が浮き出る不思議な迷路・パズルの 3 つを行った。	
当日の様子：参加人数(　約 35 名) 当日は小学生とその親御さんと一緒に授業及び実験に取り組んだ。子供達は「紫外線」や「蛍光」といった難しい言葉に最初は戸惑っていたが、こちらの丁寧な説明や、質問形式のやりとりを交えながら授業を行うことで徐々に理解をしていった様子であった。また、子供だけでなく親御さんからの質問も飛び交うなど非常に活発な科学教室であった。その後用意したブラックライトという紫外線及び可視光が出る特殊な懐中電灯を用いて蛍光物質を光らせ様々な実験を行った。特に子供達そして保護者に人気であったのが上記イベント概要記載の 2. 身の回りの蛍光物質　の実験である。お菓子やジュースなど子供達がよく目にする物の中に蛍光物質が入っているということを確認することで、蛍光という物がより身近なものと感じたようだった。授業は 1 時間１５分を予定していたが、子供達が夢中であったため３０分延長して実験を行った。保護者からは「応用物理学」「応用物理学会」についての質問も受け、アウトリーチとしての効果は、あえて言及する必要のないくらい絶大であった。今後も数件の依頼を受けているので前向きに検討し、アウトリーチに貢献していきたいと考えている。	

ブラックライトを使って
3つの実験をしよう！！